



第96回 愛媛中央 メーデー大会



メーデースローガン

「次代につなぐ 平和の願い！
みんなでつくろう 支え合う安心社会と
確かな未来を！」

連合愛媛は、4月26日(土)に城山公園(松山市堀之内)において、県内から組合員とその家族を含め約2,000人が参加し、第96回愛媛中央メーデー大会を開催しました。

冒頭、菊川実行委員長から「2025 春季生活闘争における、闘争状況は概ね7割の組合が交渉を終え、妥結状況は、加重平均で5%台をキープし、要求額・妥結額ともに昨年とほぼ同水準となっています。これは、物価高騰への対応や組合員の期待、そして、世論が注目する中で、労使双方が『人への投資』をはじめ、未来志向を見据えた真摯な労使交渉の結果と受け止めています。一方で、未解決組合の皆さんは、今なお交渉が継続しています。『みんなでつくろう！ 賃上げがあたりまえの社会』を合言葉に、すべての働く仲間の努力と思いに報いるためにも、要求貫徹に向けご奮闘いただきたいと思います。

今年は戦後80年となります。連合は、これまでも平和の取り組みを通じて『平和の尊さ、戦争の悲惨さ』を訴えてきました。『平和なくして、労働運動なし』という信念は、私たちのすべての活動の根幹にあるものです。武力や暴力、そして、抑圧は、平和を実現する手段にはなり得ません。しかし、残念ながら世界のいたるところで武力を用いた争いが絶えません。私たちは、『対岸の火事』と見過ごすのではなく、80年前の出来事を振り返り、私たちが果たすべき役割をいま一度見つめ直し、行動に結びつける年にしよう！』と訴えました。

続いて、ご来賓の愛媛県知事 中村時広様、松山市長 野志克仁様、愛媛県労働者福祉協議会 理事長 弓立浩二様より、祝辞を頂いたのち、友好政党代表者、連合愛媛議員連絡会の各級議員、各事業団体代表者のご紹介を行いました。その後、「春季生活闘争未解決組合支援決議」「メーデー宣言」を満場一致で採択し、最後に岡井副実行委員長の「団結ガンバロー三唱」で式典をしめくりました。



愛媛県知事 中村時広様



菊川実行委員長あいさつ



松山市長 野志克仁様



事業団体代表あいさつ
弓立理事長(労福協)



春季生活闘争未解決組合支援決議
松本委員(中小共闘センター)



メーデー大会宣言 猪口青年委員長

連合愛媛 2025 いきいきフェスティバルを 盛大に開催！

第96回愛媛中央メーデー大会終了後、連合愛媛 2025 いきいきフェスティバルを開催し、各種イベントや構成組織が出店するブースなど催しが行われました。天候にも恵まれ、組合員やそのご家族らで、楽しいひと時を共有することができました。



2025連合四国ブロック 政策担当者会議を開催



4月11日(金)徳島グランヴィリオホテルにおいて、2025年度の連合重点政策の策定に向けて、四国ブロック政策担当者との意見交換会議が開催され、連合愛媛からは政策委員会委員7名と事務局2名が参加しました。

本部の各担当から、連合政策実現プロセスや重点政策の修正点や追加項目について説明を受けました。その後、参加者との意見交換では、政策項目に対する質問や地域での要請行動を行う上での要望事項について伝えました。

連合全体の政策実現の取り組みとあわせて、各地域の課題解決に向けた要請行動にも反映していくことを全体で確認しました。